



寒くなる話

Bブロック作品と講評
www.columnland.net

とある調査によると

人間は一生のうちで

平均八匹ものクモを

寝ている間に食べてしまいうらしい

既婚男性(42歳)は語る

あれは忘れもしねえ俺がまだ独身だった3年前の出来事よ。
そんなとき俺は晩飯に食った肉が歯の間に挟まって、
非常に不愉快な思いをしてたんだよな。

もう嫌で嫌で仕方なくってさ。

そんなときいきなり神様が目の前に現れたんだよ。

「お前の欲しい物を何でも一つ与えてやろう。」

とか言い出すわけ。

信じらんねえだろ？俺も夢かと思ったさ。

でもそんなときの俺は、歯に挟まった肉のことしか頭になくってさ。

「つ、つまようじをくれ！」

つてとつさに叫んでたわけ。

そしたら神様が、

「承知した。」

つて言つて、箱をくれてパツと消えちゃったのさ。

ともかく俺はつまようじが欲しかったから急いで箱を開けたわけ。
いやーホントにびっくりした。だつて中に入ってたのは、

つまようじ

妻(幼児)

だつたんだもんな……。

そんなこんなので、今年で5歳になる妻と

仲睦まじく暮らしてますよつと。

20XX年地球温暖化は21世紀初頭と比べさらに全生物に対し猛威を振るうようになっていた。温暖化を防止する手法には多大な県境金がかけられている。ここT大学魔学部ではひとりの魔術師が研究をしている。

「教授、この陣は一体なんですか。失敗した後片付けをさせられる身にもなってください。」

「まあ、そうお固いことを言うな。今回はきつと成功するさ。」

「またそんないい加減なことを。で、今回はいったい何をされるおつもりで？」

「聞いて驚け！今回は悪魔の召喚をするのさ！」

（僕にとつてはあなたが悪魔ですが）

「なにかいったかね？」

「いいえ何も。でもいったい何を召喚するんですか？」

「うむよく聞いてくれた。今回はエネルギーを司るマクスウェルの悪魔を召喚する。（これで温暖化問題を解決してオレも大金持ち…。ハワイに別荘を作つてそれから…）」

「（このガキの発想だよ）じゃあ僕は失礼します……」

「ひとりだけ逃げようたつてそうはさせないぞ。魔方阵発動！！」

（結局そうなるのか………）

☆☆☆☆☆☆☆☆

気がついたら闇の中にいた。

「博士……。どこですか？」

返事はない。仕方が無いので適当に歩きまわつてみるとぼんやりと明かりが見えた。近づいてみたら博士が誰かとお茶を飲んでいた。

「こちら悪魔さん」

「悪魔です。よろしく。」

「いえ、こちらこそよろしく…つて、ええ、本当に成功していたんですか！」

「うむ。」

「じゃあとつと願ひ事を叶えてもらいましようよ。」

「じゃあ早速なのだけれども……」

「見くびつてもらつちゃ困る。君たち人間の考えることぐらいよみとれる。うんとそうだな。このあたりが扱いやすいだろう。」

「なんですか、この黒い箱は？」

「ここにコンセントが有るだろ。プラグを差し込めば君たちの言う電力が得られる。空気中の熱エネルギーを利用してね。無制限の蓄電能力も付けてある。」

「素晴らしい。早速使わせてもらいます。」

「くれぐれも使い方には……」

☆☆☆☆☆☆☆☆

気がついたら研究室に戻っていた。なにやら博士が早速使い始めているようだ。

「ところでこの機械一体どうやって止めるんでしょう？」

そういつて箱をひっくり返してみると、メモが挟まっていた。

〈〈注意〉〉

一度作動させると、止められません。』

「なんだと……」

☆☆☆☆☆☆☆☆

三十年後、この機械によつて大気中から熱エネルギーは取り出され続け、地球に氷河期が訪れた。

（寺島 直之 … 手記）

満員電車の中

こんなにも密着しているのに
知り合いではない。

心の中は
周りの人に対しての
不快感でいっぱい。

こんなにも暑いのに
心が寒い。

雪風

ボクは小さい頃 北海道から引越をした

北海道から離れて別の土地で暮らすことが ボクはすごく怖かった
だけど 引越しの日はだんだんと近づいてきて
ついに引越しの日の前日になった

ボクはこの土地に何かを残しておきたくて

何時間もかけて雪玉を転がし 絵本に出てくるような大きな雪だるまを作った
ボクはこんな雪だるまを作れたことに少し興奮し そいつを「雪風」と名付けた
初めての引越しに不安なボクを 雪風は慰めてくれるようだった

その日 ボクは遅くまで雪風と遊んだ

「また明日、遊びに来るからね ボクたちは友達だもん」
そう言つてボクは家に帰った

だけど 次の日の出発は朝早く
ボクは雪風に別れを告げることが出来なかった

その日 ボクは雪風に別れを言えなかったことを悲しんでいたが
新しい生活の準備は忙しく その後はすっかり雪風のことを忘れていた

春になった

新しい土地での生活にも慣れてきて 新しい友達もでき ボクは楽しい日々を送っていた
そんな時 あるニュースが話題になった

“怪奇” 溶けない雪だるま

それは春になっても一体の雪だるまが溶けずに残っているというものだった
ボクはすぐに気がついた

顔の形や外見は崩れていたが あの帽子、あの大きさ あれは間違いなく雪風だと
ボクは今すぐ雪風に会いに行きたかった だが 子供のボクにはどうすることも出来なかった

それから毎晩 ボクは雪風の夢を見るようになる
そしてこう語りかけてくるのだ

「ねえ……約束したよね？ 遊ぼうよ」

もう時間か。 はやく行かなければ。

私は急いで階段を駆け上がり3階に向かう。白い光で満ちた廊下を右に曲がった所に、彼女はいる。

「先生。こんにちは。」といって彼女は微笑んだ。開けた窓から優しい風がふわりと吹き込み、ベッドの上の彼女の髪の毛を揺らしている。

「もう夏ってかんじですね。ほら先生、あそこに入道雲が！」

彼女は私の腕を引き寄せ、窓の向こうを指さし、無邪気に笑った。

たしかにそこには、白くてもこもこした入道雲があった。

永遠に僕のもの

私はこの病院で、外科医として働いている。

凄腕の医者になって多くの人を助けたくて、今までずっと勉強しかしてこなかった。勉強にしか興味がなかった。

彼女に出会うまでは――。

彼女は優しい。廊下で資料を落としてばらまいてしまっている私を見て「大丈夫ですか？」と言ってちよつと微笑んで、拾うのを手伝ってくれた。その後、新しい患者がいて聞き挨拶しに行ったとき、病室にあなたがいて驚いた。あ、あの時の君かと。あなたも私のことを覚えていてくれて嬉しかった。私は人見知りで人と話すのは苦手だ。でも彼女はいつも僕に優しく話しかけてくれるから、彼女と話すのはとても楽しい。これは私にとって初めての体験で、回診の時間が楽しみになった。

しかしながら、彼女の病は重い。1万人に1人かかるかからないか、というレベルの難病だ。彼女をはじめて診察したとき、あまりにも稀な症例に目を見張ったと共に、なんでも、あなたが・・・と神様を恨んだのを今でも覚えている。でも大丈夫。私が絶対、あなたを元通りにしてあげるから。あなたを治せるのは、名医と言われる私しかない。あなたが退院したら、私はあなたに、気持ちをはっきり伝えるつもりだ。私はあなたのことが好きだ。あなたの声も、まなざしも、温もりも欲しい、と。

回診の時間がきた。今日もいつものように彼女の病室へと向かう。ドアを開けようとしたそのとき、中から聞いたこともない、男の声と彼女の笑い声が聞こえた。私は訝しげに思いつつも部屋に入った。

「あ、先生。こんにちは。」いつものように私に微笑む彼女の横には見知らぬ男がいて、彼女の手をそつと握っていた。

「先生はじめまして。彼女がいつもお世話になっています。」

彼女に彼との関係を尋ねると、彼女は恥ずかしそうにちよつと上を向いて彼と目を合わせ、微笑んだ。私はいてもたってもいられなくなった。

次の日の回診の時も、あいつはいた。彼女はあいつと楽しそうにしゃべってばかりで、私には話しかけてきてくれない。彼女はあいつに、私には向けないような笑顔を向けていた。

次の次の日、あいつはいなかった。彼女はいつものようにちよつと微笑んで私に話しかけてきてくれた。嬉しかった。でもそのまなざしは、あの時のものと全然違う、と私は気付いてしまった。

なんであなたは私にその特別なまなざしを向けてくれないんだ。

私はこんなにもあなたに尽くしているのに。あなたを助けられるのは私しかないのに。

あなたはなぜそれに気付かない？

・・・いや違う。あの男だ。

あの男の力が、あなたに付きまといっているんだ。なんて奴だ。

あなたは優しいから、優しくすぎるから、彼を拒絶することはできないんだ。

そうだね？

だったら私があなたを解放してあげよう。

7月8日午後3時40分 オペを開始します

やつとこの日がやつて来た

これで君のその優しい声も、まなざしも、温もりも、僕のものになるんだね

「先生、よろしく願います。」

君は僕に声をかけ、僕に目を合わせちよつと微笑んでから、まぶたをゆつくりと閉じた

さあ、これで君の命は僕にゆだねられた

君の声を最後に聞いたのは僕

君のまなざしを最後に受け止めたのも僕

君の温もりを最期に奪うのも――

ただ今午前三時。

僕は手術を受けた後、病院に入院している。

今日は術後二日目であるが、ここで夜を過ごすのは心細い。

隣の患者が

『この病院は出るよ』

と言っていた。

全く。余計なことを。おかげで眠れなくなってしまったではないか。

ガタツツ

思わず身震いした。まさか、この部屋に…

嫌だなあ。見えないものも見えそうだ。

あれ…

なんだか頭上にぼんやりとしたものが…

出たあ——っ

僕はほっとした。退院の日は近いのだ。

家賃の理由

僕の新しい部屋は、家賃の割にまあまあ広いです。

でも昭和に建てられたものなので結構古いです。なので、寝るとき暗くすると結構ひっそりしています。

そして風呂は、床の上に浴槽が置いてある形なので、床と浴槽に隙間があります。

ある日、排水溝が詰まったので、カバーをはずして排水溝と床と浴槽の間を覗いてみました。

・・・すると、中はカビと虫の死骸のカーペットのようになじやうじゃしていたり、前の住人の髪がたくさんあったり、黒カビと複数の虫の死骸が一体化したようなものがありました。

掃除するときも、ヌルヌルヌルヌルしていたり、死骸が床にこびりついてたりしました。

でもゴキブリは生きていました。見た瞬間、風呂の隙間に新たに僕の嘔吐物が加わりました。

一人の男は旅行帰りに道に迷いナビをつけた。

ナビに家への案内をさせると、途中道がなかった。でも、とりあえず、ナビ通りに行ってみることにした。行きにも通ったことの無い山道をひたすらのぼり、おかしいと思いつながら頼るすべはナビしかなかった。ただそれだけであるのは確かであった。

ふと、後ろに人の気配を感じ恐る恐るバックミラーで確認したが誰もそこにはいなかった。

ナビに誘導されるとある所から道がなくなっていた。

しばらく進むとトンネル内にはいった。トンネルの入り口には一輪の花が供えてあるのが目に入ったが

その時はあまり気にならなかった。僕

はひたすら進み、しばらく

するとまたもや人の気配

がして。でも、今度は後

部座席ではなく、助手席

からしたのだ。一瞬確認し

ようか迷ったが僕は我慢できずに横を

みてしまったのだ。見た瞬間、僕は自分の中で

血の気が引いていくのが分かった。黒髪で血だらけの女

がこつちを見て笑っていたのだ。その瞬間、トンネルか

らでることができた。が、つぎの瞬間、男は車ごと崖か

ら落ちていたのだ。

男とその車が発見されたのは、一週間後のことだ。もちろん、事件は不慮の事故として済まされた。女の霊は今もさまよっている。

「僕の一人旅」

お前と出会えたこの奇跡に thanks

いつまでもお前と歩いていきたい Forever

この気持ちお前に伝えたい my heart

何回だって言ってるよ endless

YO! お前が笑ってくれるから俺も笑えるんや大きな声で

お前と一緒にいてくれるから生きていけるんや本当にマジで

お前の優しさに俺は毎日救われていて everyday

だから伝えたいこの気持ち何も言わないで聞いてくれ attention please!

wow wow wow wow wow wow wow yeah~

何十年何百年何千年先も一緒にいてくれ

お前が苦しいとき俺が助けてやるから

お前が泣いてるとき俺が慰めてやるから

お前が寂しいとき俺がそばにいてやるから

Lalalalalala lalalalalala lalalala~

愛しいあの人の名前を呼ぼうぜ そうあの人の名は あの人の名は

ぞわ・・・

ぞわ・・・

圧倒的寒気
・
・
・
っ
!

ぞわ・・・

ぞわ・・・

ぞわ・・・

ぞわ・・・

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	ニュース	4 pt かわいそうな女子高生さんの受難で幕開けです。 雪道踏んでさくさくさく。3つのツッコミポイントが うまいですねえ。そうか眼鏡してれば全裸じゃないの か、そうなのか。 何ともシュールでユーモラスな光景に爆笑な今週の表 紙でした。 イチオシフレーズ：「眼鏡一丁」	10 位	0 sp
A02	実際にあった怖い話	9 pt おお、ひっぱってひっぱって、そうですか。深夜のモ ニターに照らし出される男の、そして女の本能。 たしかに、とても背筋凍るシーンです。 ご家族の名誉(?)をキケンにさらしてまで楽しませ てくださった作者さんに拍手！ 最多特別賞の支持をい ただけましたよ、おめでとう!! ん？ ふいっくしょん？ 今さら言ったって遅いって ば。 特別賞：美咲賞（みだらな美咲が……） 女だったら嫌 で賞（女の子だったら嫌だから） ノンフィクション大 賞（作者が知り合いだったらいやだ） あるあるで賞 （お父さんだって人間なもの） \(\^o^)/賞（翌日父 親と対面してwww）	4 位	5 sp
A03	レンタル	3 pt 定番、アヤシイお店屋さんネタ入ります。 何にでもなれてしまうおもしろさがエスカレートし て、ついに自分で自分に刃を向けるまで。少しずつ加 速させつつラストできっちり収束させた構成、誠実で ていねいなお仕事ぶりです。 パクリ疑惑が出てますが、いかがでしょうか、作者さ ん？ 特別賞：どっかでみたことあるで賞（そのまんま） パ クリで賞（世にも奇妙な物語で見たことあるー。） パ クルな賞（パクってる） イチオシフレーズ：「内心次はあいつだと考える自分 がいた」	11 位	3 sp
A04	こんなやつが周りにいると背筋が……	5 pt 部長がブチョっですか。寒っ。 友だちトークの親しさで、親をネタにしちゃう、こん なヤツいたら寒いよね感がしっかり伝わってきます。 ラスト1行でさっくりまとめたのが、グッジョブ。 ブチョっの語感がウケにウケて、イチオシフレーズ大 賞でした、おめでとう!! イチオシフレーズ：「部長が潰れてブチョっ」×4 「ファーザー」	7 位	0 sp
		15 pt	2 位	0 sp

A05	生存本能	ぎょええええ。ぞっとする度、ここでMaxへ。 さすが科学者の卵さんの観察力、リアリティ満載です。こーいうのは専門家に任せて、足早に通り過ぎましょう。よいこはまねしないように。 カサカサカサカサ、おぞましさを全開がヒットして、みごとシルバー・メダルでした、おめでとう!! イチオシフレーズ：「カサカサという足音のレスポンス」
A06	ぞっとする漢字の由来	10 pt3 位1 sp 妄想全開、漢字のエセ起源。 よくまあここまでブッ飛んだ妄想を考えつきますね～。ちゃんと全体を古代中国テイストで仕上げていて、統一感があるところもうまい。 それにしても、この処刑シーンのオンパレード、作者さは果たしてS属性かM属性か？ おめでとう、ブロンズ・メダル！ 特別賞：教養賞（べんきょーになりました）
A07	ダジャレを言うのは誰じゃ？	6 pt5 位2 sp ダジャレアイドル、あけみちゃんのご登場です。 振り回されっぱなしのてつ兄、でもこれはノロケなのですよね、所詮。おしあわせに。 読者さんのためには、もすこしコンパクトでも良かったような。 特別賞：やるなら全部やれ賞 普段じゃ許されないで賞（寒くなる話だから通用する） イチオシフレーズ：「キノコ食べて、やる気のこらず」「ダジャレを言うのは誰じゃ？」
A08	鏡のムコウ	0 pt12 位0 sp パラレルワールドへご招待。鏡のムコウとこっちで、とつかえっこ。 これくらいの支障で済むんだったら、ときどきとつかえっこして気分転換するのもよろしいのでは。 サムサ全開の今週、ちょっと楽しい想像もできる作品でした。
A09	テラバイト	6 pt5 位0 sp いやもう、このギャグの寒さは、たしかにテラバイト級でしょう。 般若心経バイトをしつつ、来世のための御利益（ごりやく）も付いて来ちゃう、なかなかオイシイバイトを、みなさまのこころ本舗よりご紹介でした。 イチオシフレーズ：「俺の仕事はテラバイト」×2
A10	Blindness	5 pt7 位1 sp ラストでびっくり。え？1ヶ月も監禁状態!! 直ちに通報すべしレベルですね。 狂気の少年の思い込みトークだけで、事件の進展を読者に分からせちゃう語りのうまさ、さすがのおなじみ作者さんです。 特別賞：審査員特別賞（おしかった） イチオシフレーズ：折角君（おりかどくん）
		5 pt7 位1 sp ストーカーつづきます。 女性トークでやわらかく話しているのに、とても怖

A11	私は誰よりも君を愛している	い。ずっとずっと、こんな視線が遠くから追っかけてたら・・・ 「あたし」、誰だろう。人ですら、ないのかも。 特別賞：誤字で賞（内容がいいだけにおいしい！） イチオシフレーズ：「起こった顔」「あたしは毎晩、君に電話をかける。」
A12	とある貧乏学生の悲劇	22 pt 1 位 1 sp うわあ、やっちゃった！ 1 か月間クーラーつけっぱなし。どんだけ～？ トークでしっかり状況を見せてのラストだけに破壊力甚大です。 なんか誰でもやってしまいそう。気をつけましょう、そうしましょう。 省エネ推進のご時世に、とってもためになる今週の裏表紙、堂々のゴールド・メダルでした。乱入初成功の作者さん、おめでとう!!! 特別賞：特別賞（字体がぞっとした）

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	無題（クモ八匹）	24 pt え？ まじで？ 思わず身を乗り出してしまう身近な話題で、さっくり心をつかまえる今週の表紙でした。 シンプルだから、よけいに怖い。しっかりみんなのトラウマになって、ゴールド・メダルです、おめでとう!!!	1 位	0 sp
B02	既婚男性（42歳）は語る	3 pt いやいや、なかなかシャレっけの効いた神様ですね。 こうやって、みんなの願いを少うしずつズラしてかなえてくださるから、きっと世界は楽しいのです。だって、人はほんとに必要なものは何か自分で分かっていない愚者なのですから。 グッジョブ神様！ 特別賞：ロリコンで賞（ロリコンだろ j k）さむくない賞（さむくない） イチオシフレーズ：「妻（幼児）」	9 位	2 sp
B03	寺島直之：手記	4 pt こちらは悪魔くん登場。さすが悪魔くんだけあってフォローなしの冷酷さです。 始まっちゃったら止められない。助手視点で描くことでコミカルに仕上がっています。 でもねえ、作者さん、取り出したエネルギーを地球温暖化に使っちゃダメなの、ねえ？ イチオシフレーズ：「今回はエネルギーを司るマクスウェルの悪魔を召喚する」「県境金」	7 位	0 sp
B04	満員電車の中	1 pt 人と人がくっつく。こんなに距離が近いのに、逆に近いからこそ超不快。満員電車の不条理、うまいポイントついてきました。着想のユニークさに◎。 全人類をぎゅうぎゅうにおしこめたら、どっか小さな島にすっぽり入っちゃうなんて話がありましたね。 特別賞：潔癖賞（主人公が潔癖症っぽそう）	11 位	1 sp
		8 pt ホントにありそな都市伝説。	6 位	1 sp

B05	雪風	遊ぼうよ遊ぼうよ、無表情な雪だるまくんに責めさいなまれる悪夢の日々。リアルに怖いです。 そう、約束は守らなくっちゃいけません！ 特別賞：心があったまるで賞（心があったまったから）
B06	永遠に僕のもの	10 pt 3 位 1 sp 難病少女＋外科医さん＋よけいなカレシ。 救われないストーリーを緻密に展開していただきました。 外科医さんトークなので、彼の心の動きに読者も寄り添えて暗然たる思いへ導かれます。 でも人を助ける仕事をしているかたですもの、その本能が働いて、きっと手術中に心変わりしてくださるはず！ 力作への勲章ですね、おめでとうブロンズ・メダル！ 特別賞：犯罪寸前で賞（明日ストーカー犯でつかまりそうだから）
B07	盲腸の患者	2 pt 10 位 1 sp 病院つづきます。 こちらは幽霊と見せかけての病院ミスリード。 爽快に決まりました。盲腸さん、良かったね。 特別賞：盲賞（何が出るかな？） イチオシフレーズ：「出たあーーーーっ」×2
B08	家賃の理由	4 pt 7 位 1 sp Aブロックにも、すごいのが出たけれど、Gくんほんとに人気者。 ここでも昭和の住まいの片隅に生息して、場面を盛り上げていただきました。 リアリティ満載の描写ですね。まっくろくろすけなら良かったのに。 特別賞：気持ち悪かったで賞（とにかく気持ち悪かった）
B09	僕の一人旅	1 pt 11 位 0 sp トンネルで視覚的に見せたところがワザですね。 そこだけ「僕」と一人称なのは、あの世から語っていただいているからでしょうか。 地名とか入れると、よりリアリティ増します、おためしを。
B10	ママ	10 pt 3 位 3 sp 熱く熱くシャウトして、ラストがなんと「ママ」っ。 落差に大爆笑の親孝行ロッカーさんでした。 こんな熱いハートを届けられたら、きっとママもお喜びのことでしょう。ブロンズ・メダル&最多特別賞タイです、ママによろしく!! 特別賞：ママ賞（ママ）投函間違えたで賞（ドンマイ） ラップ賞（とにかくおもしろい!!） イチオシフレーズ：「ママ」「attention please!」 「wow wow×4」「thanks」
B11	究極の恐怖	13 pt 2 位 2 sp あーあ、バレバレですよ、ね、「新しいフォルダ」なんて。作成日時も見えちゃってるし。 そこまではしっかりお見通しで、こうやっていじめを楽しんじゃう彼女ナイス。 ラストの「いやあああ」は喜びに目覚めた喚起の雄叫びと見ました。相性抜群のおふたり、未永くおしあわせにっつと、みんなのエールがこもった（たぶん）シルバー・メダルです、おめでとう!! 特別賞：エッチで賞（エッチ）新しいフォルダで賞（どうして学籍番号知ってるの？）

		イチオシフレーズ：「大学の学籍番号」
		10 pt 3 位 3 sp
B12	圧倒的寒 気・・・っ！	超おなじみ「ざわ・・・ざわ・・・」から「ぞわ・・・ぞわ・・・」へ、1文字変換しただけなのに、なんだろう、この不可思議なるインパクトは？ そんな言葉マジックで驚かせて、とてもとても寒かった今週の読み納めでした。 最多特別賞タイ&イチオシフレーズ大賞&ブロンズ・メダルと、いっぱいgetです、おめでとう!! 特別賞：むしろあつい賞（字が厚くてむしろ暑い）コードギリギリで賞（ぞわぞわざわざわ）カイジ賞（カイジだから） イチオシフレーズ：「ぞわ」×2 「圧倒的寒気・・・っ！」×3